

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調査(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんおかやまぶんかげいじゅつそうぞう 公益財団法人岡山文化芸術創造	団体ウェブサイトURL https://www.ocac.jp/ http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/	
代表者職・氏名	理事長 越宗 孝昌		
制作団体所在地	〒 700-0822	最寄り駅(バス停)	JR岡山駅
	岡山県岡山市北区表町一丁目5番1号		
電話番号	086-234-2001		
ふりがな 公演団体名	おかやまふいはーもにつっかんげんがくだん 岡山フィルハーモニック管弦楽団	団体ウェブサイトURL http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/	
代表者職・氏名	事務局長 高次 秀明		
公演団体所在地	〒 700-0822	最寄り駅(バス停)	JR岡山駅
	岡山県岡山市北区表町一丁目5番1号		
制作団体 設立年月	1984年11月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:越宗孝昌、専務理事:高次秀明 常務理事:荒島茂樹、草加叔也、理事7名 評議員11名、監事2名	岡山文化芸術創造/職員71名(R5年9月1日現在) 岡山フィルハーモニック管弦楽団/ 別添参照(R5年4月1日現在) 加入条件/団員…公募によるオーディション	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	柴田 勲
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	小林 利加
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	oka_phil@okayama-symphonyhall.or.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1984年11月 財団法人岡山文化施設整備センター設立 1991年 3月 財団法人岡山シンフォニーホールに名称変更 1991年 9月 岡山シンフォニーホール開館 1992年10月 岡山フィルハーモニック管弦楽団設立 2006年 4月 指定管理者指定(10年間) 2013年 4月 公益財団法人に移行、公益財団法人岡山シンフォニーホールに名称変更 2013年 4月 ハンスイェルク・シェレンベルガー 岡フィル首席指揮者就任(在任期間:3期9年間) 2016年 4月 指定管理者指定(2期目、5年間) 2017年 6月 公益社団法人日本オーケストラ連盟加入(準会員) 2017年10月 高畑壮平 岡フィル首席コンサートマスター就任 2020年 4月 公益財団法人岡山文化芸術創造に名称変更(財団合併) 2021年 4月 指定管理者指定(3期目、5年間) 2022年 4月 秋山和慶 岡フィルミュージックアドバイザー就任 藤原浜雄 岡フィルゲストソロコンサートマスター就任 ハンスイェルク・シェレンベルガー 岡フィル名誉指揮者就任 2023年 9月 岡山芸術創造劇場(ハレノワ)開館</p>											
<p>学校等における 公演実績</p>	<p><岡山シンフォニーホールでの小・中学校音楽鑑賞教室>(オーケストラ編成) 1999年度から現在(2022年度)まで 延べ40公演、50,005名参加 <学校公演(岡山県依頼公演)> 小編成…1993年度から現在(2022年度)まで 延べ970公演、283,924名参加 オーケストラ編成…1993年度から現在(2022年度)まで 延べ68公演、31,677名参加 <文化庁・芸術家派遣事業> 2015年度から現在(2022年度)まで 延べ271校、26,348名参加</p> <p>※2023年度開催(予定含む)公演 ・小・中学校音楽鑑賞教室 1日2公演 8校783名参加 ・学校公演 小編成 春季 12校13公演 1,509名参加、秋季 15校15公演予定 オーケストラ編成 2校予定 ・芸術家派遣事業 18校予定</p> <p><0歳から入場できるファミリーコンサート> 1999年から2022年度現在まで、延べ80公演 64,530名参加 ・真庭市との連携事業 真庭ファミリーコンサート 1公演 237名参加(毎年) ・岡山県立大学との連携事業 親子で楽しむ音楽会 1公演350名参加予定(毎年)</p>											
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>【支援学校等での演奏実績】 楽団設立当初から支援学校へのアウトリーチを実施しており、岡山県内支援学校訪問実績ではのべ40校を超えています。 2018年度3校(岡山大学教育学部附属特別支援学校、県立東備支援学校、倉敷市立倉敷支援学校) 2019年度2校(岡山県立誕生寺支援学校、岡山県立岡山南支援学校) 2020年度2校(岡山県立岡山瀬戸高等支援学校、岡山県立岡山支援学校) 2021年度3校(岡山県立東備支援学校、岡山大学教育学部附属特別支援、倉敷まきび支援学校など) 2022年度4校(倉敷まきび支援学校、倉敷市立倉敷支援学校、岡山県立東備支援学校、岡山県立岡山支援学校) 2023年度5校を予定(岡山大学教育学部附属特別支援学校、岡山県立誕生寺支援学校 弓削校地、岡山南支援学校、岡山県立岡山支援学校)</p> <p>【その他】 岡山シンフォニーホールで行う岡山市小中学校音楽鑑賞教室に、毎年、適応指導教室の児童・生徒たちを受け入れています。また学校公演では不登校など既存の学校になじみにくい子どもたちを受け入れている学校法人おかやま希望学園での実施も多くあります。</p>											
<p>参考資料の有無</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1686 938 1771">申請する演目のWEB公開資料</td> <td colspan="2" data-bbox="938 1686 1449 1771">無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1771 938 1856">※公開資料有の場合URL</td> <td colspan="2" data-bbox="938 1771 1449 1856"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1856 938 1944" rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td> <td data-bbox="938 1856 1015 1899">ID:</td> <td data-bbox="1015 1856 1449 1899"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="938 1899 1015 1944">PW:</td> <td data-bbox="1015 1899 1449 1944"></td> </tr> </table>	申請する演目のWEB公開資料	無		※公開資料有の場合URL			※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		PW:	
申請する演目のWEB公開資料	無											
※公開資料有の場合URL												
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:											
	PW:											

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	遊ぼう 楽しもう！ 岡フィルと！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①チャイコフスキー：オペラ『エフゲニー・オネーギン』より「ボロネーズ」(5分) ★②楽器紹介(15分)：楽器を観察しよう。 ③ビゼー：オペラ『カルメン』より「闘牛士」(5分) ★④校歌(3分)：オーケストラとともに歌ってみよう。(録音可能) ★⑤アプレウ：「ティコティコ」(5分)オーケストラとリズムセッションに挑戦。 ～休憩～(10分) ⑥モーツァルト：オペラ『フィガロの結婚』序曲(4分) ★⑦モーツァルト：「おもちゃの交響曲」(4分30)【WS連動】オーケストラと一緒に合奏。 ⑧柳原栄：「キッチンコンチェルト」(4分30) ⑨ブラームス：「ハンガリー舞曲 第5番」(3分) ★⑩指揮者体験「ハンガリー舞曲 第5番」(3人10分)：オーケストラを操ってみよう。 ⑪ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」第4楽章(12分) アンコール：ラデツキー行進曲(4分) ※★は体験プログラムを予定。 ②校歌は、学校と相談のうえ歌うか、歌わないかを決定。 ※上記プログラムは一部変更になる可能性があります。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名 ジャスラック	許諾確認状況 採択後手続き予定
演目概要	<p>オーケストラによる生の音を楽しんで体感いただけるように、長く親しまれているクラシックの名曲を中心としたプログラムとしています。鑑賞と体験を織り交ぜた構成とすることで、子どもたちが飽きることなく音楽に参加できるよう工夫しており、演奏会を通じて楽器の名称からオーケストラとの共演まで幅広い体験をしていただける内容となっています。 「おもちゃの交響曲」はワークショップと連動した選曲であり、オーケストラとの合奏に児童・生徒全員が参加することを目的としています。※別添をご参照ください。</p>		
演目選択理由	<p>小学校・中学校の音楽の教科書に登場する曲目を中心に、クラシック特有の重厚な音の響きを味わえる曲目を選曲しています。華やかな音色や、素早いリズムで構成されている曲目を揃えることで、子どもたちが飽きずに鑑賞できる、高揚感やドラマティックさを備えた曲目を多く選びました。能動的に音楽を体験し、クラシック音楽をより身近な存在に感じられるよう、児童・生徒が演奏に参加することが可能な曲目を選出しました。 音楽は情操教育に適しており、豊かな心を育てることができる大きなきっかけとなることから、オーケストラの持つ豊かな音色を存分にお楽しみいただけることを念頭にすべての選曲を行っています。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>②楽器紹介 楽器の名前・音色を紹介。児童・生徒に近づいて音を奏でます。 ④校歌 校歌をオーケストラ伴奏で歌います。校歌の編曲をプロに依頼し、地域の学校の記録として校歌の保存に助力します。 ⑤リズムセッション 打楽器奏者の先導で簡単なリズムから難しいリズムへ、ボディーパーカッションにて演奏に参加いただけます。 ⑦演奏体験 WSとの連動企画です。オーケストラとの楽器での合奏を、生徒全員が体験します。楽器は授業で使用するリコーダーや鍵盤ハーモニカに加え、音楽室にある学校所有の楽器や、児童・生徒が自宅から持ってきた楽器も参加可能とします。また体を楽器とする手拍子や歌での参加も受け付け、児童・生徒全員が参加できるように工夫します。 ⑩指揮者体験 指揮のやり方を指揮者から児童・生徒全員に伝えたのち、学校側で選出された3名程度が指揮に挑戦します。</p>		
出演者	<p>【指揮者・司会】中井章徳、松元宏康、他。 【管弦楽】岡山フィルハーモニック管弦楽団 (弦楽器／第1ヴァイオリン 8名、第2ヴァイオリン 6名、ヴィオラ 4名、チェロ 4名、コントラバス 3名 木管楽器／フルート 2名、オーボエ 2名、クラリネット 2名、ファゴット 2名 金管楽器／ホルン 4名、トランペット 2名、トロンボーン 3名 打楽器／ティンパニ 1名、打楽器 3名 合計46人)</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 47 名 スタッフ： 10 名 合計： 57 名	運搬	積載量： 2 t 車長： 6.5 m 台数： 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00~10:30	13:00~14:30	10	14:30~15:30	15:30

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	16日	13日	0日	18日	13日	
	11月	12月	1月	計	76日	
	11日	0日	5日			

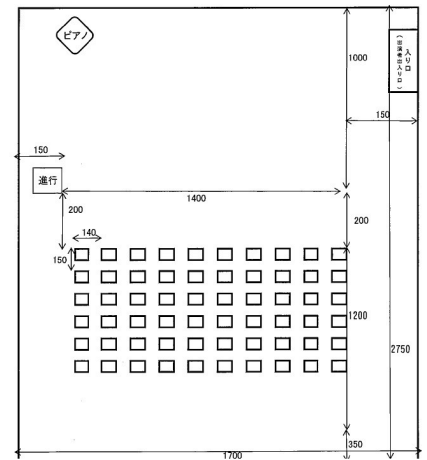
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	制限なし(実施会場に入る範囲で)
		鑑賞人数目安	制限なし(実施会場に入る範囲で)

会場全体



会場全体図案



楽器紹介



指揮者体験



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

- オーケストラ展開場所: 体育館舞台下を想定
- フロア占有面積: (幅) 11~15m × (奥行) 7~10m (体育館の大きさに応じて打ち合わせ時に調整いたします)
- ※舞台袖、舞台上、オーケストラ展開部分の両横などを、楽器ケース置き場、楽員の待機場所として使用します。
- お借りする備品: 人数分のパイプ椅子、長机数台、目隠しとなる衝立・卓球台など(事前確認にてご相談させていただきます) ※「おもちゃの交響曲」にて使用予定の学内楽器はあらかじめ体育館までご移動ください。
- 持ち込み備品 指揮台、指揮者譜面台、演奏者譜面台

【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	学校と相談し可能な限り受け入れる
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>【演奏者・スタッフ人数】合計最大6名を予定(打楽器、弦楽器・管楽器の音に合わせる。)</p> <p>本公演の曲目への参加を見据えて、次の3段階からなるワークショップを行います。</p> <p>①プロ演奏者に聞く、オーケストラ鑑賞の基礎知識(30分程度)</p> <p>②-A 弦楽器に触ろう(10分程度)</p> <p>②-B 生活の中の打楽器を鳴らそう(10分程度)</p> <p>③実技演奏指導:リズム感を養い演奏に参加(40分程度)</p> <p>※②はA,Bいずれかを学校側でお選びいただけます。</p> <p>【①プロ演奏者に聞く、オーケストラ鑑賞の基礎知識】(30分程度)</p> <p>本番公演で演奏する曲の解説と、オーケストラ鑑賞における基礎知識をプロの演奏者が紹介します。楽器構成、オーケストラの裏話、演奏中に考えていることや海外留学の経験などを演奏者自身の体験をお話いたします。児童・生徒からのインタビューや質問にも応じます。(学内にプロジェクターがある場合は、お借りする場合がございます。)</p> <p>【②-A 弦楽器に触ろう】(10分程度)</p> <p>ヴァイオリンを最大30台ご用意し、子どもたちに楽器を触っていただくコーナーです。弦楽器奏者のレクチャーにて弦をはじく、弓で弦をこするなど基本的な弦楽器の触り方を学びます。子どもたちは開放弦を鳴らし、弦楽器奏者との共演演奏に挑戦いただきます。</p> <p>【②-B 生活の中の打楽器を鳴らそう】(10分程度)</p> <p>「キッチンコンチェルト」をとりあげ、日常身の回りにある様々なものを打楽器として奏でてみるコーナーです。生活の中の道具が叩き方、リズムなどで楽器になることを紹介し、児童・生徒自身に身近な生活の中に楽器の楽しみ方があることを知ってもらいます。</p> <p>【③実技演奏指導】(40分程度)</p> <p>1) 本番演奏予定曲「ティコティコ」を取り上げ、コール&レスポンスとボディーパーカッションでの参加を目標に、リズムの基礎を拍手や足踏みなど簡単な動作から指導します。</p> <p>2) 「おもちゃの交響曲」を取り上げ、音楽の授業で学習する鍵盤ハーモニカ、リコーダー、その他学校にある楽器や生徒が持参した楽器を種類ごとに分類します。その後、本番公演でのオーケストラとの合奏を目指し、役割の異なる楽器ごとに曲のタイミングに合わせて音を鳴らす演奏指導をいたします。学校の音楽の授業では体験できないオーケストラとの合奏により、音楽への興味と楽しさを深めることを目指しています。</p> <p>全体80分のワークショップを予定しています。</p> <p>なお、ワークショップへの参加は全校生徒でも可能ですが、人数が多い学校の場合は、学校側と相談し、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの楽器を初めて触る学年に絞って指導するなどの相談にも応じます。</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>①プロ演奏者に聞く、オーケストラ鑑賞の基礎知識</p> <p>オーケストラ鑑賞の導入として、プロの演奏者自身から、体験を踏まえてオーケストラの話や聞くことで、等身大の音楽家とのコミュニケーションの場とします。専門家へのインタビューを通して、音楽や表現方法のみならず、海外留学体験などグローバルな視野を児童・生徒に持っていただくねらいです。</p> <p>②生活の中の打楽器を鳴らそう</p> <p>日常生活で使用する道具を楽器として演奏できるという学習を通して、日常の生活の中に音楽があることを児童・生徒自身が気づくことをねらいとしています。</p> <p>③実技演奏指導</p> <p>演奏指導を通じて、本番演奏におけるオーケストラとの共演への前段階とします。演奏共演の体験が、今後の児童・生徒たちの音楽教育への前向きな取り組みへの一助となることをねらいとしています。</p> <p>1) 「ティコティコ」では最も身近な打楽器であるボディーパーカッションを体験してもらいます。</p> <p>2) 「おもちゃの交響曲」では打楽器の特性と種類を学習したうえで、指導を行います。自分で好きな楽器を持参し、楽器演奏への苦手意識から積極的に取り組む機会とします。加えて、プロ奏者による演奏指導を通じて、児童・生徒の創意工夫を引き出すことがねらいです。</p>		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>①プロ演奏者に聞く、オーケストラ鑑賞の基礎知識</p> <p>あらかじめ質問事項をお知らせ頂ければ、打楽器以外の楽器奏者への質問なども可能な限り回答をご用意いたします(お返事は、本番公演後になる場合があります)。</p> <p>②生活の中の打楽器を鳴らそう</p> <p>学内にある打楽器の演奏方法や、専門知識を有する教員が配置されていない学校などで生じる困りごとについて、先生方からの質問にも可能な限り応じます。</p> <p>③実技演奏指導</p> <p>ワークショップ終了後、打楽器奏者による演奏指導動画を公開し、本番演奏までの練習素材として学校に提供いたします。ワークショップに参加できなかった児童・生徒などと共有いただき、本番日までの練習・復習のためにお使いいただけるようにいたします。</p> <p>上記の取り組みを通じて、学校教育現場では十分に伝えきれない音楽の魅力、楽器演奏の楽しさなどの機会を提供することにより、子どもたちの音楽を通じての豊かな情操を育むことに貢献します。</p>		

本事業への申請理由

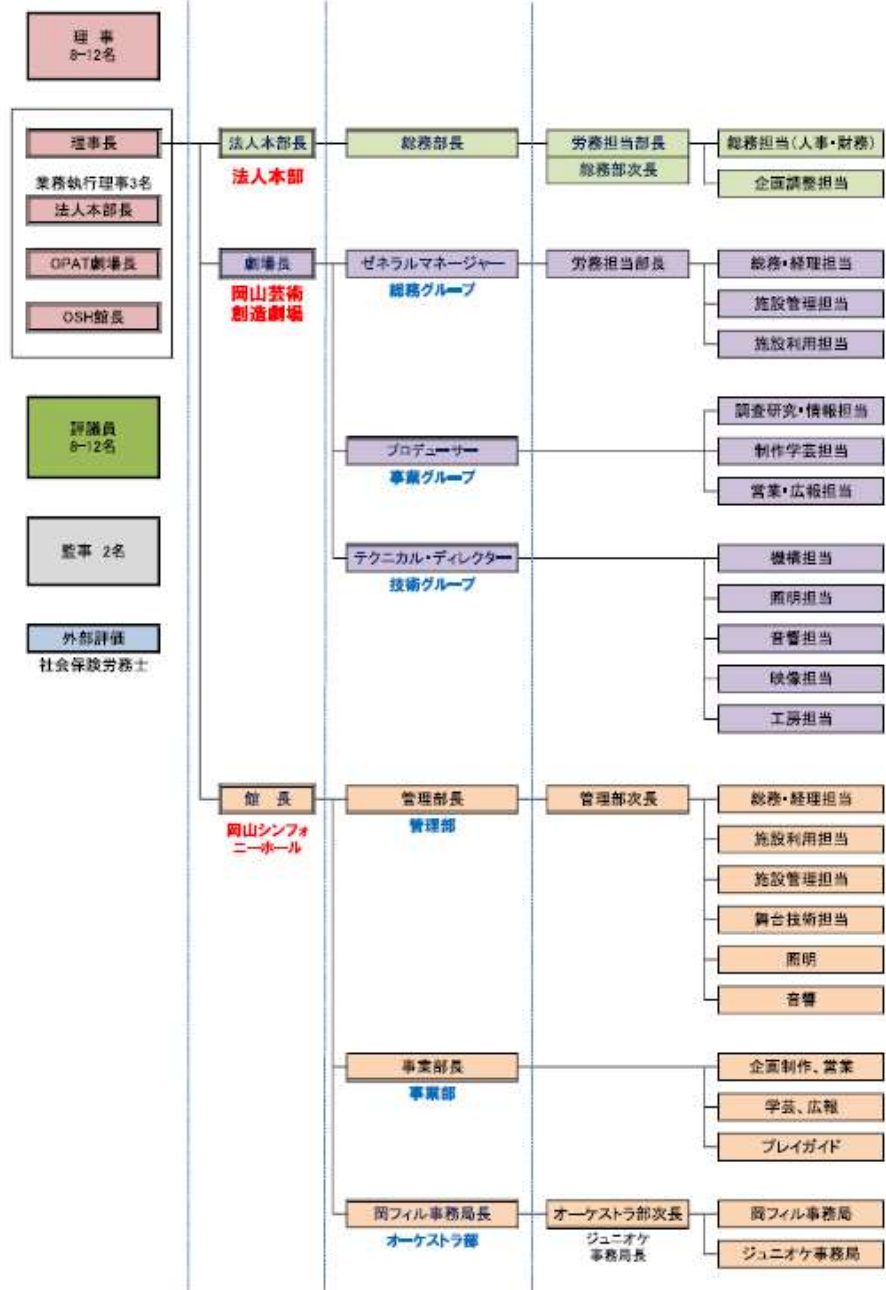
【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 岡山フィルハーモニック管弦楽団が目指す社会的使命は次の2点です。</p> <p>1)優れた音楽鑑賞の機会の提供 2)未来を担う子どもたちに本物の音楽を届けることにより、豊かな情操を育みます。</p> <p>この目的達成のため、本事業においては次のように取り組みます。</p> <p>1)学校の教科書に登場する曲目を中心に、重厚なオーケストラらしい音の重なりを味わえる曲目を選曲しており、生の演奏を存分に体験いただける内容を揃えています。 プロのオーケストラならではの高質な生の音楽を体験し将来のクラシック音楽鑑賞者を育てることを目指します。</p> <p>2)音楽を鑑賞するのみならず、参加型の演目をプログラムに加えることにより、興味を持って音楽鑑賞・体験にご参加いただけます。 感性が鋭く柔らかい心を持つ子どもたちの心に、人格形成の上で最も大切な想像力(イメージネーション)等の心を養うことに貢献します。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 まず、本事業はワークショップから本番公演までの一連の連続した企画として構成しています。本番公演での演奏参加体験をハイライトとし、そこに至るまでのワークショップを気づきのきっかけとして機能させます。また、本番公演後も日常生活のなかに存在する音楽へ関心の目を向けて頂けるよう、児童・生徒自身が思考すること・挑戦することを促す企画構成にしています。</p> <p>そのために、次の内容にて、円滑な実施を図ります。</p> <p>1)事前に記入形式の質問フォームを作成し、学校の希望・課題をお知らせいただきます。</p> <p>2)事前準備に関する動画を制作し、本番公演までに確認いただく。質問等も受け付けます。</p> <p>3)ワークショップ開催後、打楽器指導動画を公開し、本番公演までの指導・復習にご活用いただきます。</p> <p>4)開催後、児童・生徒、学校担当者などにアンケートを実施し、事業実施についての自己評価を行い、次回実施への改善点を明らかにします。</p>
--	--

リンク先 No.1

【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団】

(公財)岡山文化芸術創造 組織体制図【2023.04.01】



項目内容

リンク先	No.1	【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団 】
項目内容	<p>2023年度岡山フィル団員名簿 (2023年4月1日現在)</p> <p>ミュージックアドバイザー(指揮):秋山和慶</p> <p>名誉指揮者:ハンスイェルク・シェレンベルガー</p> <p>ゲストソロコンサートマスター:藤原浜雄</p> <p>■アシスタント コンサートマスター(ヴァイオリン) 4人 入江 洋文・近藤 浩子・田中 郁也・長坂 拓己</p> <p>■ヴァイオリン 5人 石原 崇子・河野 園子・釋 伸司(2ndヴァイオリン特別首席) 高旗 健次・濱田 南</p> <p>■ヴィオラ 8人 大道 真弓・佐份利 祐子・島田 玲・杉山 みゆき・土居 綾子 中川 敦史・七澤 達哉(首席)・野村 敏美</p> <p>■チェロ 4人 後藤 敏子・松岡 陽平(特別首席)・森谷 栄子・山本 玲子</p> <p>■コントラバス 3人 嶋田 泉・嶋田 真志・谷口拓史(首席)</p> <p>■フルート 2人 堺 由美・畠山 奏子(首席)</p> <p>■オーボエ 3人 上田 美佐・工藤 亜紀子(首席)・沼 佳名子</p> <p>■クラリネット 2人 西崎 智子(首席)・松本 典子</p> <p>■ファゴット 2人 小野 エリコ・西牧 岳</p> <p>■ホルン 2人 奥村 邦子・藤原 さよ</p> <p>■トランペット 3人 小林 鴻(首席)・崎谷 由佳利・横田 健徳</p> <p>■ティンパニ & パーカッション 3人 近藤 高顕(ティンパニ特別首席)・荻原 里香・福場 史子</p> <p>※名簿は五十音順</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団 】
項目内容	<p>2024年度文化庁巡回公演演目概要</p> <p>①チャイコフスキー:「エフゲニー・オネーキン」より「ポロネーズ」 華々しいファンファーレで開演します。「ポロネーズ」とはポーランドの民族舞曲です。ポーランド出身のショパンが好んで使いましたが、この曲はロシア出身のチャイコフスキーが作曲しました。「ポロネーズ」最大の特徴はリズムにあり、1拍目の16分音符を少し後ろに詰めて演奏します。コンサートの幕開けには最適な曲です。</p> <p>②楽器紹介 オーケストラで使われる様々な楽器を一つ一つ演奏を交えながら丁寧に紹介していきます。可能であれば、子どもたちに近づいて見てもらいます。</p> <p>③ビゼー:「闘牛士」 ビゼーのオペラ「カルメン」で演奏される曲で、テレビなどでも頻繁に取り上げられています。</p> <p>④校歌 各学校の校歌を、子どもたちの歌と共に演奏します。国歌さえも歌うことが少ない昨今、重要だと考えています。</p> <p>⑤アプレウ:「ティコティコ」 サンバのリズムに乗った軽快な曲です。ボディパーカッションや手拍子などで子どもたちも参加できる曲です。リズム感を養うのに適しています。</p> <p>～休憩～</p> <p>⑥モーツァルト:「フィガロの結婚」序曲 クラシック音楽のコンサートでモーツァルトは定番の作曲者です。中でも最も有名な曲です。</p> <p>⑦L.モーツァルト:「おもちやの交響曲」 子どもたちも参加できる曲です。リコーダー、鍵盤ハーモニカ、打楽器、など様々な楽器で参加できます。オーケストラとの共演を楽しんでいただきます。</p> <p>⑧榊原栄:「キッチンコンチェルト」 台所用品のフライパン、ボウルなどを使い視覚的にも楽しい曲です。</p> <p>⑨ブラームス:「ハンガリー舞曲第5番」 ⑨の指揮者体験の曲をまずお手本として演奏します。2拍子の分かりやすい舞曲です。</p> <p>⑩指揮者体験「ハンガリー舞曲第5番」 子どもたちの代表として(学校側で)3人程度選出します。この3人には、少し指揮のレクチャーをします。そして、実際にオーケストラを指揮してもらいます。記憶に残る体験になるでしょう。</p> <p>⑪ドヴォルザーク:「新世界より」第4楽章 本公演のメイン曲です。アメリカに渡って機関車を見てショックを受けたドヴォルザークはこの機関車の音をテーマにしました。聴きやすく印象に残る曲です。</p> <p>⑫アンコール:ラデツキー行進曲 アンコールは手拍子と共に演奏します。子どもたちにも参加してもらいます。</p>	

リンク先 No.3

【公演団体名 岡山フィルハーモニック管弦楽団】

ワークショップ
開催事例の紹介

- ①オーケストラ奏者にインタビュー②A
弦楽器体験
- ②B身の回りの打楽器を鳴らそう
- ③実技演奏指導

②A 弦楽器体験



②B 打楽器を鳴らそう



項目内容



③実技演奏指導